



令和元(2019)年度 北米都市(カナダ)青少年派遣事業報告書 7月27日(土)~8月12日(月)



廿日市市

目 次

はじめに	• • •	• • •	• • •	• •	• • •	• • •	• • •	• • •	• 1
北米都市	(カナダ)青少	年派遣	事業	こつい	て・	• • • •	• • •	3
日程表	• • • •	• • • •	• • •	• • •		• • • •	• • •	• •	7
カナダとこ	ブリティ	ッシュ	• 🗆 🗆	コンビ	ア州に	ついて	• • •	• • •	9
派遣学生愿	惑想文	• • •	• • •	• •	• • •	• • •	• • •	• •	11
大塚<	くるみ	• • •	• • •	• •	• • •	• • •	• • •	• •	11
伊達	朱音	• • •	• • •	• •	• • •	• • •	• • •	• •	14
米原	希	• • •	• • •	• •	• • •	• • •	• • •	• •	17
あとがき		• • •	• • •	• •	• • •	• • •	• • • •	• •	20
参考資料								• •	21

はじめに

廿日市市 副市長 原田 忠明

元号が平成から令和と時代が変わる中、この度、廿日市市が第6次廿日市総合計画の将来像である「挑戦!豊かさと活力あるまち はつかいち ~夢と希望をもって世界へ~」の実現を目指し、新たに、北米都市(カナダ)青少年派遣事業に取り組みましたが、多くの皆様のご協力により無事に初期の目的を達成することができました。また、派遣学生全員が、研修中大きく体調を崩すことなく、達成感と自信に満ちた表情で、無事帰国できたこと大変嬉しく思います。

カナダ・ビクトリアへの派遣は、グローバル化する社会の中で活躍する青少年の力を育むため、廿日市市の青少年を北米都市(カナダ)に派遣し、現地での生活や体験を通じて友好と相互理解を深めることにより、国際感覚豊かな人材を育成することを目的として実施したものです。

3名の派遣学生は、3回の事前学習会を経て、カナダ・ビクトリア教育委員会が実施するサマープログラムへ参加するため、引率者3名とともに7月27日(土)岩国空港からバンクーバー・ビクトリアへ飛び立ちました。

サーニッチ・ビクトリア周辺の視察を行うことで、カナダの自然の美しさ・ 歴史や風土について学び、多国籍の人々とのふれあいを通して、我々日本人を

やさしく受け入れてくれる温かみを感じることができました。

英語でのコミュニケーション能力とともに、豊かな国際感覚を身につけたと感じております。英語を使った実践的なコミュニケーションは勿論ですが、海外という不慣れな環境でありながら、物おじせずにアクティビティに積極的に挑戦し、自分の力で克服する頼もしい姿を見ることができ、研修が派遣学生にとって大変実りあるものだったと実感しております。



また、優しさと温かさにあふれたホストファミリーと一緒に有意義な日々を 過ごし、多くのことを学ぶことができたようです。そして、サマープログラム への参加者と触れ合うことで、意思を伝え合うことの喜びと大切さ、言葉の違 いを越えた人と人とのつながりを改めて感じたことでしょう。さらには、美し いカナダの自然の中で過ごすことで、カナダの広大さを肌で感じることができ たのではないでしょうか。

派遣学生は、この17日間を通じて得た貴重な体験を活かして、自ら描く未来に向かって歩んでいって欲しいと願います。そして、今後もホストファミリーはもちろん、この事業を通して出会った方々との交流を大切にし、多文化への理解を深め、また友情の絆を一層深められることを期待します。

最後に、この研修旅行を行うに当たって、派遣学生の募集・選好などを行なっていただいた廿日市市国際交流協会をはじめ、現地ガイドの皆様、関係者の皆様に心よりお礼を申し上げます。



1 北米都市(カナダ)青少年派遣事業の概要

(1)事業の目的

グローバル化する社会の中で活躍する青少年の力を育むため、北米都市(カナダ)に青少年を派遣し、現地での生活や体験を通じて国際感覚を身につけることを目的とする。

(2)派遣先及び主な内容

カナダ ブリティッシュ・コロンビア州 ビクトリア・サーニッチ ビクトリア教育委員会主催のキャンプ・ビクトリア・サマープログラムに 2週間参加し、語学研修、自然体験、周辺視察、ホームスティを体験する。

(3)期間

令和元年7月27日(土)~8月12日(月)

(4)派遣人員

高校生3人、引率2人、通訳1人

2 派遣に関わる全体スケジュール

派遣説明会 3月23日(土)13:00~14:30

- 事業概要→募集要項で説明
- ・選考試験について

募集 4月1日~4月12日 市広報4月号

選考試験

- ・1次試験 4月21日(日)10:00~11:30 英語筆記・リスニング試験 廿日市市、広島の基礎知識
- · 2 次試験 5月11日(土) 10:00~11:30 面接(日本語、英語)
- ・選考会議 " 11:30~12:00選考委員 6名

派遣説明会 6月1日(土) 13:00~15:00 (保護者同伴)

- ・旅行諸手続について(旅行会社からの説明)
- ・今後の日程、派遣期間中の注意事項
- ・帰国後の報告書作成について
- ・サマープログラムについて
- ・カナダを知ろう!!! (広島カナダ協会理事:田中勝邦氏の講座)

事前研修会

- 第1回 6月28日(金)18:30~19:30
 - ・派遣事業の内容について(趣旨、心構え、スケジュール)
 - ・報告会について
 - ・廿日市市、広島県の紹介について
- 第2回 7月15日 (月:祝) 13:30~16:10
 - ・現地で役立つ英会話学習 講師:谷本秀康氏(同時通訳者)
 - ホストファミリー情報
- 第3回 7月18日(木)18:45~20:00
 - カナダについて知ろう!
 - 講師:松山 正義氏(カナダ・バンクーバー島在住 廿日市市出身)



市長表敬訪問 7月18日(木) 18:00~18:30

- ・派遣学生の抱負
- ・市長からの激励の言葉



派遣期間 7月27日(土)~8月12日(月)

市長帰国報告 8月23日(金)18:00~18:30

- ・派遣学生の感想
- ・市長からのねぎらいの言葉

事後研修会

- 第1回 8月23日(金)18:45~19:30
 - ・報告会の打合せ~レポート作成、写真の選別、提出期限
 - ・FM はつかいちの出演について
- 第2回 10月15日(火)19:00~20:00

- •報告書作成
- ・報告会リハーサル

FM はつかいち出演 10月4日(金)19:00~20:00

・高校生3人と引率者が出演し、現地の サマープログラムやホームスティの 体験を通しての印象を楽しく話しま した。



報告会 10月18日(金)19:00~20:00

- 市長あいさつ
- · 派遣学生各自発表
- 引率者報告

派遣学生・引率名簿

役 割	氏 名	ふりがな	職名・学校名・学年
引率者	原田 忠明	はらだ ただあき	廿日市市副市長
引率者	上田 美穂	うえだ みほ	国際交流・多文化共生室係長
通訳	田中 勝邦	たなか かつくに	広島カナダ協会理事
学 生	伊達 朱音	だてあかね	広島市立基町高等学校 2年
	米原 希	よねはら のぞみ	広島市立舟入高等学校 2年
	大塚くるみ	おおつか くるみ	山陽女学園高等部 1年







第5週のサマープログラム

WEEK 5 Schedule CLASSES G/H

Sat. Aug 10	E, F, G, H	Arrival - 7:10am	VANCOUVER TRIP	7:30am Bus departs Uplands	9:00am Ferry 10:30am Thirdwave Bus Pick-up at	12:30 Check-in at Fly	Over Canada Approx. 1:30 Shopping & Free Time	5:00pm Bus departs Vancouver Art Gallery	7:00pm Ferry 8:35 Bus from Ferry to Uplands	9:30pm Homestay Pick- up at Uplands	
Frt. Aug 9	E, F, G, H	Arrival	Class Time (ESL)	BREAK	Class Time (ESL) Farewell Ceremony	LUNCH 12:00-1:00	E, F, G, H	Afternoon Activity			
Thurs. Aug 8	б, н	Arrival	Class Time (ESL)	BREAK	Class Time (ESL)	LUNCH 12:00-1:00	U	12:00 Bus departs	12:30-2:30 Kayaking CLASS G	ONLY 2:40 Bus departs Kayaking	
Thurs	g	Arr	Class Tir	Na Na	Class Tr	12:00	x	Platoon 1:00-2:10	BREAK 2:10-2:15	Platoon 2:15-3:25	17 3:30
Wed. Aug 7	πʻʻʻ	Arrival	Class Time (ESL)	10:20am Bus Pick-up at Uplands	11:00am-1:45pm WildPlay	LUNCH	H 'O	1:45 Bus Pick-up at WildPlay	BREAK 2:30-2:45	2:45-3:30 Afternoon Activity	DISMISSAL 3:30
Tue. Aug 6	н'9	Arrival	Class Time (ESL)	BREAK	Class Time (ESL)	LUNCH 12:00-1:00	Η ·	Affermoon Ardivity			
Aug 5	Б, Н	Arrival	SL)	¥	ne (ESL)	СН -1:00	O	1:00-2:10 Platoon	BREAK Z:10-2:15	2:15-3:25 Platoon	
Mon. Aug 5	oʻ	Arr	Class Time (ESL)	BREAK	Class Time (ESL)	LUNCH 12:00-1:00	H *Early Lunch	12:00 Bus departs Uplands	12:30-2:30 Kayaking CLASS H	2:40 Bus departs Kayaking	
DATE	CLASS	8:45am	ACTIVITY 9:00-10:30	BREAK 10:30-10:45	ACTIVITY 10:45-12:00	LUNCH 12:00-1:00	CLASS		AFTERNOON ACTIVITIES		

2019年度 北米都市青少年派遣事業日程表

	北米都市青少年派		方面		カナダ				
期	2019年7月27日(土)	~	8月12日(月)	人口	<u>引率</u> 3	<u>学生</u> 3	無料	合計	t
間			15 泊 17 日	員				6	名

日次	月日	地 名	現地時刻	交通機関	行程	朝食	昼食	夕食
1	7/27	【共通】 岩国空港港 岩国田空港着 羽田空港着	16:00 17:20 19:00 21:55	NH638 NH116	岩国空港集合 岩国空港より全日空にて羽田空港へ 羽田空港到着、羽田空港にて乗継 機中(泊)	_	_	機内
•	(土)	バンクーバー空港着 バンクーバー空港発 ビクトリア空港	14:50 19:05 19:35	AC8077 専用車	バンクーバー国際空港にて乗継 ビクトリア空港到着 専用車にてホテルへ(6人乗車)	内	機内	0
2	7/28	【共通】 ビクトリア サーニッチ		専用車	Best Western Plus Carlton Plaza Hotelビクトリア(泊) シングル利用専用車利用 9:00 ~ 17:00(6人乗車) ・サーニッチ交流関係者面会・協議 ・サーニッチ、ビクトリア周辺視察 Best Western Plus Carlton Plaza Hotelビクトリア(泊) シングル利用	・ホテル	_	〇レストラン
3	7/29	【引率】 ビクトリア サーニッチ 【学生】 プログラム参加		専用車	専用車利用 9:00 ~ 20:00 ・プログラム視察(オリエンテーション、ELL) ・ビクトリア教育学区ジェフ・デービス氏面会・協議 ・ビクトリア大学訪問 Best Western Plus Carlton Plaza Hotelビクトリア(泊) シングル利用 プログラム初日 ・ピクトリア大学訪問 ・ポストファミリーと合流 ホームスティ(泊)			
4	7/30 (火)	【引率】 ビクトリア ビクトリア空港 バンクーバー空港	16:05 16:35	専用車 AC8074 専用車	専用車利用 9:00 ~15:00 ・プログラム視察(PM:アクティビティ) ビクトリア空港よりエアカナダにてバンクーバー空港へ バンクーバー空港到着 専用車にてホテルへ ・キャロン元駐日大使面会 GEC Granville Suitesパンクーバー(泊) シングル利用	・ホテル		
		【学生】 プログラム参加 【引率】 バンクーバー		専用車	プログラム2日目 ホームスティ(泊) 専用車利用 9:00 ~ 14:00 ・日本国総領事館訪問(10:00)	· ホ		
5	7/31 (水)	空港到着 バンクーバー空港 【学生】 プログラム参加	14:00 16:25	NH115	・熊谷先生面会 バンクーバー空港へ到着 バンクーバー空港より全日空にて羽田空港へ 機中(泊) プログラム3日目 ホームスティ(泊)	テル		
6	8/1 (木)	【引率】 羽田空港着 羽田空港発 岩国空港	18:30 20:15 21:50	NH639	羽田空港より全日空にて岩国空港へ 岩国空港到着〜解散			
7 ~	8/1 (木) ~	【学生】 プログラム参加			8/10(土)プログラム終了	_		_
15	8/10 (土)				ホームスティ(泊)			

日次	月日	3	地 名	現地時刻	交通機関	行程	朝食	昼食	夕食
			【学生】 ビクトリア空港集合	8:00		専用車にてホストファミリー宅から空港へ			عاملا
16	8/1	11	ビクトリア空港発	9:00		ビクトリア空港よりエアカナダにてバンクーバー空港へ			機
	(日))	バンクーバー空港着	9:30		バンクーバー空港到着 ・日系カナダ人記念館訪問、カナダ日系人協会会長と面談(田中さん同行) 専用車にて空港へ			内
			空港到着	14:00		バンクーバー空港到着			
			バンクーバー空港	16:25	NH115	バンクーバー空港より全日空にて羽田空港へ			
			F.334 (L. 3			機中(泊)		$\vdash \vdash$	
			【学生】						
	8/1	12	羽田空港着	18:30	N.H. 1000		機	機	
17	(月))	羽田空港発	20:15	NH639	羽田空港より全日空にて岩国空港へ 	内	内	
			岩国空港着	21:50		岩国空港到着〜解散 (ご家族お迎え)	. 3	. 1	

カナダとブリティッシュ・コロンビア州について

広島カナダ協会 理事 田中 勝邦

[多民族・多文化国家]

カナダはロシアに次ぐ世界で2番目、日本の27倍の大きな国土を持つ国です。 西端のビクトリアから東端のセントジョンズの距離が8,030キロもあり、東京とバンクーバー の距離7.533キロよりもさらに遠く、しかも6つの時間帯がある広大な国です。

また、カナダは「雄大な自然」の国で数多くの湖や、素晴らしいロッキー山脈やナイアガラの滝など素敵な大自然などで良く知られています。

カナダは 1867 年(明治元年の前年)に英国から独立しました。今年で建国 152 年の若い 国です。

人口は 3,724 万人で日本の 4 分の一です。人口の 80%がアメリカ国境近くの都市圏に住み、5 人に一人がカナダ以外の国で生まれています。

公用語は英語とフランス語ですが、人口の約20%は2つ以上の言語を話し、100以上の 人種が暮らす多民族国家です。

英国系とフランス系の市民を中心に先住民と移民の人たちの多彩な伝統文化を尊重する 多文化主義を国の基本的な方針として取り組んでいます。そして毎年、世界各国から 20 数 万人の移民を受け入れています。

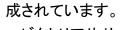
カナダは住環境や社会福祉制度も整っており、素晴らしい国の一つとして世界中から高く 評価されています。

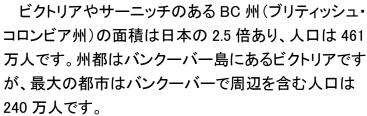
国際的にはカナダは国連平和維持軍の創設を提案し、世界各地の紛争地へ平和維持軍 を派遣するなど積極的に国際貢献にも取り組んでいます。

英BBC放送が毎年実施している世界アンケート調査で、2017年度と2018年度の2年連続でカナダは国際社会に貢献した国として好感度1位になっています。

〔ブリティッシュ・コロンビア州〕

一方、カナダは 10 の州(プロビンス、province)と 3 つの準州(テリトリー、territory)から構





英国経済紙エコノミスト誌の調査で世界の住みやすい都市ランキングでバンクーバーは安全性、環境、文

化、教育、インフラなどの総合評価で世界第3位に選ばれています。

バンクーバー島は九州とほぼ同じくらいの面積です。カナダは冬が非常に厳しい寒冷地

が多く、退職後はカナダ各地から冬も温暖なビクトリア地域に移り住む人が多いことでも知られています。治安も良く住環境が素晴らしいこともその一つで、バンクーバーと比べ少しのんびりした雰囲気です。

[サマープログラム]

ビクトリア教育委員会が主催する[Camp Victoria Summer Program]に伊達朱音さん、米原希さん、大塚くるみさんの3人が廿日市市から初めて参加しました。

私もこれまで広島カナダ協会(バンクーバー、モントリオール)や広島市教育委員会(韓国、大邱)が主催する青少年交流のホームステイプログラムをお手伝いした経験から比較してみても、このビクトリア教育委員会の[Camp Victoria Summer Program]はカリキュラムから保安面や事前準備から受け入れなど素晴らしく良く企画されており大変良くできたサマープログラムだと思います。

ビクトリア教育委員会の永年の経験から組み立てられたものだと思います。参加した生徒も地元の生徒にとっても30数か国の青少年が互いに異文化体験ができ素晴らしいプログラムだと思いました。

また、このビクトリアにはカナダでも著名で広大なキャンパスを持つビクトリア大学もあり、 アカデミックな環境で異文化体験と語学研修のスタートとしてのこのサマープログラムの素 晴らしい体験できたと思います。

なお、カナダでは教育委員会は地方自治体の中の一組織ですが、日本と比較した場合、 独立した組織でかなりの権限を持っているようです。したがってビクトリアのように自由裁量 でこのような立派なサマープログラムが実施できるものと思われます。

この素晴らしいビクトリアのサマープログラムに、廿日市市の北米都市(カナダ)青少年派遣事業がこれからもずっと継続できることを期待しています。



~~~CANADA'S TRAVELS~~~

山陽女学園高等部1年 大塚 くるみ

コミュニケーションを沢山の人とすることが好きだったのでこのカナダ語学研修に参加 しました。

日本国内にいてはできないような体験をし、とても楽しく充実した 2 週間を過ごすことができました。

今回は日本の学校に通っていては、習うことのできない日常的な英会話を使って沢山の身の周りの人たちとコミュニケーションを取り合うことが目的でした。まだまだ未熟ではあるけれど研修前に比べて英会話力やコミュニケーション能力、生活力が、周囲の人に助けられながらも自力で出来るものは自分でする対応する力が上がりました。



~~~UPLANDS CAMPAS~~~

主に私たちが通っていたカナダの学校 UPLANDS CAMPAS では各国から来た留学生が英語を身に着けるために毎日通っていて、英語の授業以外にも、ジムやグラウンドでテニスやバスケットボールなどのスポーツを通してコミュニケーションを図ったり、郊外に出て遊んだりしてカナダの事について知ったりしました。

~~~学校内のアクティビティ~~~

多くのクラスが存在するため、いくつかのクラスごとに分かれてアクティビティをしました。ESL(クラスごとに行われる英語の学習時間)では、カナダに関連するしりとりやゲーム、自然との共存やカナダのリサイクル事情について話し合ったり、自分の故郷や好きな場所についてパソコンを使って発表したり、クラスメイトや先生と英語で話し合ったりしました。一方、



アウトドアアクティビティでは、テニスやフリスビー、スーパーマーケットに行ったりジップライン、カヤック、立法府の内部ツアー、猛禽類の動物園、ブッチャードガーデンに



花見をしに行ったり、往復3時間ほどかけてフェリーでバンクーバーに行ったりしてカナダの事を 学びました。

~~~クラスの様子~~~

クラスごとによって雰囲気はばらばらでしたが、 私たちのクラスだけでなく他のクラスも常に楽し かったです。クラスを越えた活動をしたりするので、他のクラスの沢山の国の生徒たちと 仲良くなったり、楽しくおしゃべりをすることができました。

~~~ホームステイをして感じた日本とカナダとの相違点~~~

時差が18時間あるため、日本の人たちと連絡をリアルタイムで取れるのは数時間だけでした。朝、夕方は少し肌寒く、上着が手放せない気候でしたが、昼は暖かく一日中乾燥しているのでとても過ごしやすい時期でした。日の入りが遅い時期に訪れたので21時位までは明るく1日が長く感じますが、そのぶん活動時間が長くなるので沢山の事を楽しむことができました。



学校へは私はバスで通っていました。公共交通機関は時間通りで、日本と同じくらい正確で助かりました。しかし、相違点がいくつかありました。バスで降りる際はボタンかバスについてあるボタンにつながった黄色の紐を引っ張らなければバス停には止まってくれないのです。また、バス停では立っていないと走行スピードを全く落とさずスルーされてしまうので、バスが来たらアピールするために気を付けていました。一方、クラスで遠出をする時はいつもこの写真の黄色いスクールバスに乗っていました。海外の映画によく出る黄色いスクールバスに何度も乗れて嬉しかったです。



~~~ホストファミリーとの生活~~~

あらかじめ日本にいる時からホストファミリーと連絡を取り、カナダの情報やホストファミリーの生活習慣に関する情報を聞いていたので渡航後は、生活をスムーズに送ることができました。私のホストファミリーは、家の近辺の有名な場所から穴場スポットまで丁寧に案内してくれました。また、ダウ

ンタウンに行ってはその場所の遠い昔の歴史など理解しやすいように説明してくれました。例えば、昔は銀行だったけれど現在外見は英国風銀行、中はおしゃれなパブになっているという話もたくさんありました。彼ら曰く、カナダ人は昔の建物を取り壊そうとはせず、内装だけ変えても外観は取り壊さない場合が多いとのことです。そのお陰で今でも昔ながらの建物が多く、町全体の統一感は崩されていないのです。

また、今回カナダに訪れた際の初めての休日が BC デー(''ブリティッシュコロンビアデー'')でかなり有名なフェスティバルが開催されており、昼から道路は通行止め、街はより一層鮮やかに飾られ、沢山の人で賑わっていました。沢山のお店や



ショーなども見ることができました。夜の22時くらいから行われる花火大会の為に、午 前中から場所取りをする人も少なくありませんでした。この時の日没時間は21時。そし て、なんといってもカナダの夜は冷えます。日本での花火は暑い時期に見ますが、カナダ ではブランケットを持って寒い中で花火を見ました。しかし、これも今となってはとても いい思い出です。また寒い日の花火大会を見たいです。

~~~経験をどのように生かしていくか~~~

今回は初めて日付変更線を越え、飛行機を往復合わせ て6本乗り、一番長いフライトは片道10時間もあり、 長時間自分たちだけでのフライトも良い経験になりま した。カナダの学校が始まる前までは観光もしっかりで き、充実した日々を過ごすことができました。今回の語 学研修では英語やコミュニケーション以外にもたくさ ん学んだことがありました。このような貴重な経験をす



ることができたからには日本の魅力をさらに自分も知るべきだと思いました。もちろん日 本の魅力を海外や沢山の人に自ら発信していきたいと思います。今回の貴重な体験をでき たことを協力してくれた方々に感謝しています。

蒸気時計







もとは鉄道だった橋

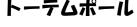


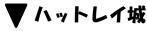


4 檻を飛び越える孔雀

クレイダーロック城

トーテムポール









カナダ留学記

広島市立基町高校2年 伊達 朱音

私がこの度のカナダ派遣事業に参加したいと思ったのは、世界各国からの留学生との交流の中で、実践的な英語力を向上させることが出来るところに魅力を感じたからです。現地の自然・文化を体験し、地元の方々と触れ合うことで自分の視野を広げていきたいと思いました。

カナダに約2週間滞在して、たくさんの事を経験できましたが、その中でも特に印象深かったことについて報告します。

まずカナダのバンクーバーに着くと入国審査をしました。審査官のお兄さんにパスポート等見てもらい、無事入国できるだろうか…とドキドキして待っていました。すると、突然何か話しかけられましたが、聞き取れず何回か聞き直して相手が「日本語でバイバイは何て言うの?」といっていることがわかりました。予想もしていなかった会話にお別れの挨拶ができた後、思わずほっとしましたが、少し怖いイメージを持



っていた審査官の方がとてもフレンドリーだったことに驚き、そして嬉しくなりました。カナダ人はフレンドリーな人が多いと聞いていたので「カナダにやってきた!」という気持ちになりました。私がビクトリアのスーパー等で買い物をする時もカナダの人々の温かさを感じることができました。店員の人は皆楽しそうに働いていて生き生きしていました。会計に行くと、「Hello. How are you?」と素敵な笑顔で話しかけてくれ、小銭の使い方がわからずに困っている時は、払い方を親切に教えてくれました。このことは、私を初めて「無人会計より人に会計してもらいたいなあ」という気持ちにさせてくれました。

ビクトリア高校(私が通ったのはアップランズキャンパスです)には7月30日から登校し



ました。バスでの登下校はホームステイ先が同じだった中国人のゆきちゃんとほとんど一緒でした。私は B クラスで、クラスには他の日本人もいて、メキシコやコロンビア、中国、シリア出身の人がアシスタントの生徒や留学生を含め約10~15 人ほどいました。学校では簡単な英語を使ったゲーム(わからない英単語や先生の話すスピードが速かったり、発音が良すぎて聞き取れない時もありました)をしたり、プラスチッ

クごみについての学習、テニスやバスケットボールなどの体育、クッキング、観光など多くの事をしました。観光では宮殿のようなビクトリアの立法府の見学をしたり、ブッチャードガーデン、ビクトリアのダウンタウン、ペッティングズー、バンクーバーに行ったり、猛禽類を見に行ったりしました。カヤッキングの体験もありました。ブッチャードガーデンは綺麗なお花が本当にたくさんあってとても感動し、癒されました。カヤッキングは人生初の経験で最初は水が怖かったですが、だんだんと慣れてきて、水の流れや風を感じながら漕ぐこ

とが出来ました。腕の疲れが半端なかったです。ビクトリアのダウンタウンには友達とも行きましたが、町のあちこちに綺麗なお花のハンギングバスケットがあり、とても美しい景観でうっとりしました。クラスの生徒達とはほとんど会話することができませんでしたが、アシスタントの生徒や先生と楽しく会話ができました。クラス担当のキム先生に英語力向上のためにはとにかく話して実際に使っていくことが大切だとアドバイスをもらいました。陽気で楽しいフラッシュ先生



にはたくさんのカナディアンジョークで笑わせてもらいました。



ホストファミリーは忙しい方々で、食事も一緒にできませんでしたが、私が日本のカレーライスを作った時にはゆきちゃんが「初めての味で美味しい!」と喜んでくれました。私は茶道部なのでホストマザーとゆきちゃんにお茶をたてたりもしました。ゆきちゃんとはお互いの住んでいる町の紹介をし合いました。私が宮島や牡蠣、あさり、けん玉など紹介をした後に感想を聞くと、「廿日市の歴史や建築、食の豊かさに驚きました。行ってみたいです。」と言ってくれました。

中国の紹介をしてもらった後、私も歴史でよく出てくるシルクロードを歩いてみたいなと思いました。

カナダの伝統料理とは、いろんな国の料理の良い点を合体させたものだと学校の先生が教えてくれました。私がこの度、食べることが出来たカナダ伝統料理、菓子はプーティンとナナイモバー、バタータルトです。プーティンとは、フライドポテトに肉汁でできたグレイビーソース、チーズをかけた料理です。どれもとても美味しく、食べるのが楽しかったです。

約2週間の留学でカナダの良さ、日本の良さにも多く気づくことができました。夜9時になってようやく暗くなり、8月でも寒い時は22度くらいで涼しい夏をもつ、日本より高緯度にあるカナダの人々の暮らしや性格、文化には私が想像していた以上の違いがありました。人懐こくて、親切で、レストランの食事にしてもお昼のお弁当にしても量がたくさんで、戸

惑ったり驚いたりしたことも多くありましたが、それに慣れるように自分で工夫をして上手に適応する力をつけることができました。伝えたいことや頼みたいことがあるときは、たとえ難しい状況でも自分ができるだけの範囲で生懸命英語を使ってコミュニケーションをとることが大切だと学びました。会話を通して自分の英語力の未熟さを痛感し、もっと努力が必要だと改めて感じました。



今回の留学での素晴らしい経験、学んだこと、感じた事を多くの方に発信して、海外に行き、人々と関わることで異文化交流をすることの楽しさ、大切さを伝えていきたいと思います。道で困っている外国の方がいれば役に立つことができるように話しかけていきたいです。機会があれば、身についた積極性を生かして、廿日市市の魅力を広島を訪れた外国人観光客の方々にお伝えして廿日市市を好きになってもらえるように頑張りたいです。

このたびのカナダ派遣事業に関わって下さった方々、本当にありがとうございました。たくさんの経験の中にはつらいものももちろんありましたが、それ以上に貴重な素晴らしい経験ができました。この経験を生かしてこれからの人生を豊かにしていきたいです。





カナダが私に教えてくれたこと

広島市立舟入高校2年 米原 希

私は母からの話を聞いて、このカナダ派遣事業があることを知りました。カナダでホームステイをしながら現地の学校で様々な国の学生とサマーキャンプに参加するというとても魅力的なプログラムで、必ず私の英語のスキルアップにつながると思い、応募することに決めました。また、カナダで生活することによって異文化に触れ、自分の世界を広げたいとも考えていました。学生の頃に海外に行って、異文化に触れるということはとても貴重ですし、これからの進路にも良い影響を与えると思いました。

行く前は、カナダでのプログラムに対するワクワクした気持ちよりも、現地の人へ自分の英語は伝わるのか、学校の授業についていけるのかといった不安な気持ちの方がずっと大きかったです。

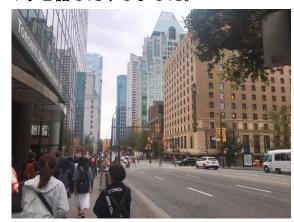


しかし実際にカナダに行ってみると、 人々は優しく、街並みは綺麗で穏やかなと ころでした。気候は夏でも涼しく、晴天な 日が多く、とても過ごしやすかったです。 朝晩は少し肌寒い日もありましたが、半袖 で過ごすことができました。

学校では15人程度のクラスが8つほど あって、2クラスごとに分かれて色々なア クティビティをしていきました。クラスに は CA というカナダの現地中高生が二人ず

ついて授業の手伝いをしてくれます。学校にはカナダ人、中国人ン、日本人、メキシコ 人などの生徒がいました。私のクラスには日本人と中国人しかいませんでしたが、日本 人の子ともできるだけ英語で話したり、積極的に CA の子と話したりしました。

アクティビティではバスに乗ってブッチャードガーデンという庭園に行ったり、ダウンタウンに行って買い物をしたり、カヤッキングをしたりしました。中でも楽しかったアクティビティは、バンクーバーに行ったことです。バス、フェリーを乗り継いで2時間以上かけていきました。バンクーバーはビクトリアより都会で高層ビルが多くありましたが、街中に花や植物があって、建物もオシャレで華やかで



した。CA や友達と食事や買い物を楽しむことができました。



これらのアクティビティを通して、カナダの豊かな自然に触れながら多くの学生と英語でコミュニケーションをとることができました。実際に私は中国人の女の子ととても仲良くなって、今もメールのやり取りをしています。その子は日本のアニメや音楽がとても好きで、私もアニメや漫画は好きなので話が盛り上がりました。違う国の学生と英語でコミュニケーションをとることは、とても刺激的で面白

かったです。英語はもちろん他の言語も学んで、より多くの人ともっと深い話ができる ようになりたいと思うようになりました。

学校のプログラムだけでなく、ホームステイでも素晴らしい体験ができました。私のホストファミリーは、お父さん、お母さん、そして9歳から17歳までの4人の子どもたち、犬1匹、ネコー匹がいました。彼らはとても優しくて、私でも分かるように簡単な英語でたくさん話してくれました。私も日本での暮らしについて教えてあげたり、その日あった出来事について話したりしました。



特に、一番下の9歳の女の子ダニカとは、バド

ミントンをしたり、公園やツリーハウスに行ったりしたりして、放課後ほぼ毎日遊びました。ダニカだけではなく、近所の子たちとも一緒に遊んだのですが、みんな元気いっぱいで、私がクタクタになりました。普通の旅行では体験できないような日々を送ることができました。

毎週日曜日は、ホストファミリーとの自由行動の日でした。週末を利用して、キャンプに連れて行ってもらいました。カナダでのキャンプは日本のようにキャンプ場に行って数家族でやるという感じではなく、草原のようなところに行って、6-7家族親戚が集



まって、パーティーのように話して過ごすというものでした。私も大人たちに加わってもっと話したかったのですが、ネイティブ同士の会話はスピードも速く、何について話しているのか分からない時もあり、あまり話に加わることができませんでした。「もっと英語が話せたら!」と悔しく思いました。実際には、3~4歳の子どもとの会話が一番話しやすく、自分でも面白かったです。

ホストファミリーは毎日おいしいご飯を作ってくれたし、私が過ごしやすいように気を配ってくれました。スーパーやレストランにも一緒に行って、カナダの人たちの暮らしの一部を体験することができました。本当に感謝してもしきれません。



私はこのカナダ派遣事業を通して、カナダの自然や文化に触れると同時に、人との縁を感じました。もう二度と会わないかもしれない人々と一緒に過ごしたカナダでの思い出は一生忘れません。沢山の素敵な人達に会えて本当に良かったと思います。これから二度と会うことはないかもしれないけど、彼らとの思い出はずっと私の心の中に残り続けます。

また、自分の英語力の不十分さも感じました。もっと 英語を話せるようになりたいと思うようになり、英語を 勉強することへのモチベーションが格段に上がりました。 これからもっと英語を勉強して、将来外国の文化につい て学びたいです。この夏の思い出は一生の宝物です。



あとがき

自治振興部 国際交流・多文化共生室 上田 美穂

北米都市(カナダ)青少年派遣事業は、新規事業として実施したものです。 選考会を経て派遣学生となった3名の高校生と、3回にわたり事前学習会を 実施しました。まずは、カナダという国について、歴史や気候・風土、生活や 通貨等。2回目は、市を代表して派遣される立場であること、廿日市市の魅力 を発信するために出来ること、そして最後に、何のために行くのか目的を明確 にすること。選考会で初めて出会った3名が、始めは緊張しながらのスタート でしたが、同じ目的で学習を重ねるうち、少しずつ距離が縮まってくるのを感 じました。

カナダでのホストファミリーとの有意義な生活の中で、日本での「あたりまえ」が、通じないことを体感することで、より広い視野で物事を考える力を一人ひとりが身に付けていったのではないでしょうか。

この研修旅行から帰って、3人の学生が口々に伝えてくれた「英会話の力の無さを感じた」「英語の勉強の必要性を強く感じた」という悔しさをにじませた言葉のあとに、「これからもっと英語の勉強を頑張る」「いろんな国があり多様な人々がいることを知った」「もっと違う国へ行ってみたい」「世界で通用する人になりたい」という、未来に向けての新たな夢や志につながり、派遣学生の将来を後押しするものになったこと、これはこの事業の大きな成果だと思っています。

廿日市市の代表として、感性豊かな10代のうちに、カナダの多民族国家の人々と心と心のふれあいを通じて感じてきたことは、これからの人生において財産になることと思います。また、日本の文化や廿日市市の魅力を伝えようと、けん玉や書道、折り紙やお好み焼きを作ってもてなす等、自分たちの文化を大切にし、それを異国の方々に知って欲しいと考えるその気持ちは、これからの人生にとって、とても良い影響を与えるものだと考えます。

派遣学生にとって、生涯忘れることのない貴重な体験であるとともに、自らの生き方に大きな影響を与える研修旅行であったと感じています。

最後に、この研修旅行を行うにあたって、廿日市市国際交流協会、現地ガイドの皆様、関係者の皆様に心より感謝申し上げます。また、この研修旅行を温かく見守り、励ましながら快く送り出してくださった保護者・ご家族の皆様にお礼を申し上げます。



力十分青少年派遣弧修訊。

カナダ西部のサーニッチ市(バンクーバー島)で、現地の教育委員会が主催するサマープログラム (2週間)と現地での交流事業に高校生を派遣する事業を予定しています。派遣研修の説明会を次のとおり開催しますので、国際交流に興味のある方、まずは説明会にお越しください。

日 時: 2019年**3月23日(土) 13時~14時30分**

場 所: 廿日市市民活動センター 第1研修室

自己負担額: プログラム参加費と羽田空港までの国内移動費 (国際線の費用は市が負担)

対 象: 市内在住の高校生

申込み期限: 3月20日(水) 17時まで

申 込 み: 国際交流協会事務局へ電話又は直接

【派遣選考試験】

募集期間: 4月2日~4月12日

試 験 日: 筆記試験4月21日(日)10時~

面接試験5月11日(土)10時~

派遣人員: 3名



派遣期間:7/27(土)~8/12(月)

派遣場所:カナダ・スリティッシュコロンビア州ビクトリア・サーニッチ

サマープログラムには世界各国からの留学生が参加し交流できます。

実践的な英語を学ぶことができます。

- ホームステイ先はサマープログラムで留学生受入の研修を受けた家族です。
- カナダの雄大な自然や多様な文化を体験できます。
- 現地の様々な活動に参加し、地元の方々との交流を行います。





【説明会のお問い合わせ】

廿日市市国際交流協会事務局まで(TEL:0829-20-0116)

受付時間: 火曜日~金曜日 9時~17時

笑顔でつながるいろんな言葉

BLOSSOM はつかいち

廿日市市国際交流協会会報

2019.8 No. 293

カナダ青少年派遣事業 報告 P1 「おりがみで七夕かざりを作ろう!」報告 P2

「ムスリムおもてなしセミナー」報告 ほか P3

イベント情報 ・ お知らせ P4

カナダ青少年派遣事業 カナダに行ってきます!

7月27日(土)から8月12日(水)までの17日間、廿日市市から選考を経て選ばれた3人の高校生がカナダ・サーニッチを訪問し、ビクトリア教育委員会が実施するサマープログラムへ参加します。この事業は、市の新規事業で、グローバル化する社会の中で活躍する青少年の力を育むため、北米都市に青少年を派遣し、現地での生活や体験を通じて国際感覚を身につけることを目的としているものです。

キャンプビクトリアサマープログラムは、英語を母国語としない学生を対象としたもので、語学学習の実践的な体験に特化し、学生の英語力を向上させる内容となっており、派遣中は、カナダの家庭でホームステイをし、異なる文化やカナダの生活を経験することができ、美しいバンクーバーを訪れるだけでなく、様々な楽しく魅力的な地元の活動に参加することもできるものとなっています。今月号では、派遣される高校生3名の一言メッセージと、滞在先や日程などを紹介します。

Schedule

7月27日(土)

岩国空港を出発し、羽田空港からバンクーバー 空港へ。バンクーバー空港からビクトリア空港、 カナダ・サーニッチへ

7月28日(日)

サーニッチ・ビクトリア周辺視察

7月29日(月)~8月10日(土)

キャンプビクトリアサマープログラム参加、

カナダ家庭でホームステイ

8月11日(日)

ビクトリア空港よりバンクーバー空港へ バンクーバー空港より羽田空港へ出発

8月12日(月)

夜、岩国空港到着、日本へ帰国

このプログラムは、私の英語のスキルアップと国際性を養うための良いチャンスだと思います。廿日市の若者が世界に飛び立つための足がかりになるよう、精一杯頑張ってきます。

(Nozomi)



世界各国からの留学生と交流することで、実践的な英語力を身に付けたいと思います。

また、現地の自然や文化を体験し、地元 の方々と触れ合うことで自分の視野を広 げたいです。廿日市の魅力を多くの人に 発信できるように頑張ります。

(Akane)

私は海外との交流に興味があり、言語が異なっても沢山の人とコミュニケーションをとる事が好きです。私は特に日常英会話のスキルアップを目指しています。国内にいては、できない様な暮らし方を体験したいです。

(Kurumi)

2019年(令和元年)7月26日(週刊)(8)

高校生3人カナダへ派遣

廿日市市が青少年育成を目的に



出国前に眞野市長に成長を誓った

ナダと

0

FMはつかいち76.1MHzさんは大田典子さん、上田美穂さんとー *** 緒です。

昨日 9:35 · 3

10月4日(金)午後8時からは、夢プラン実行委員会presents「夢プラン」 東園恵さんに代わって大田典子が担当させて頂きました。

今週は、廿日市市の初めての取組み カナダ青少年派遣事業において、選考 により選ばれた高校生3人、伊達朱音さん、米原希さん、大塚くるみさん と、引率された国際交流多文化共生室の上田美穂さんにお話しを伺いまし た。

この事業は、7月27日(土)~8月12日(月)の17日間、ビクトリア教育委 員会が実施するサマープログラムへ参加されたもので、サーニッチ・ビクト リア周辺視察を通して、カナダの自然の美しさや歴史や風土について学んだ り、多国籍の人々とふれあうことができました。

3人の高校生は、サマープログラムでもホームステイ先でも全て英語で話 し、海外という不慣れな環境でも物おじせずアクティビティに挑戦。

番組では、皆さんがこのプログラムに応募し参加されたきっかけや、カナダ での体験、広島とのぶんかのちがい、心境の変化、将来の夢などを詳しく伺 いました。

このカナダでの経験が、3人の高校生にとって、ひと周りもふた周りも大き くなった実りあるものになったようです。

なお、10月18日(金)19時から、廿日市市市民活動センター第1研修室で、 カナダ青少年派遣事業の報告会を開催いたします。

参加された3人の高校生の生の声をお聞き頂きます。

参加費は無料です。 是非お越しください。

詳しくは0829-20-0116 までお問い合わせ、お申込み下さい。お電話は、月 曜日と土日を除く午前9時から午後5時迄の間でおねがいします。



北米都市青少年派遣北米都市長がサーニッチを野市長がサーニッチを

国高等部1年)が27日に出発し、カナダ・サーニッチに約二週間ホームスティする。現地団体が企画するプログラムに参加し、自然と触れ合うアクティビティや英語学習などに下った英語学習などに大いり組む。出発前の18 長とともに両地域をつなぐ役割になることをなぐ役割になることを を生かしたい」、米 原さんは「語学と国際 力を養うチャンス。若 力を養うチャンス。若 でなかりになれるよう 表敬訪問で伊達さんは「多くの文化に触れば「多くの文化に触れ

市広報9月号

北米都市青少年派遣事業

高校生3人が国際交流に カナダ・サーニッチへ

カナダのバンクーバー島にある サーニッチへ派遣される高校生が、 7月18日に市長を表敬訪問しました。 本事業は、市で初めて高校生を対 象に行われる青少年派遣事業で、 大塚くるみさんと伊達朱音さん、米 原希さんが選考で選ばれました。

市長は「カナダへの道を切り開い てもらいたい。また、経験したことを 中高生に伝えてほしい」と話しました。 7月27日~8月12日の約2週間、 3人はホームステイをしながら、サマー プログラムや交流事業に参加しました。



左から米原さん、大塚さん、伊達さん。3人は 市長に出発前の意気込みを語りました

9 広報はつかいち令和元年9月号

2019年(令和元年)7月20日 (土曜日)

地 域 (28)

英集。7人の応募 事集。7人の応募

中国新聞

世日市市はカナダ西部の サリティッシュコロンビア が生3人を初めて派遣す る。多様な文化や民族を受 3人はいずれも市内に住 グラムに2週間参加する。 グラムに2週間参加する。 りを支える人材に育てる狙 を生かし、将来のまちづく

う。8月12日に帰国する。 の交流などで国際感覚を養 の交流などで国際感覚を養 3人は18日夜、

廿日市市、3高校生を初派遣 懸け橋

フランス、台湾の都市とも 中高生の相互派遣などで交 地高生の相互派遣などで交 国家のカナダでの生活や学 国家での生活や学





7月27日(土)から8月12日(月)までの17日間、廿日市市から選考を経て選ばれた3人の高校生がカナダを訪問し、ビクトリア教育 委員会が実施するサマープログラムへ参加してきました。サーニッチ・ビクトリア周辺視察を通して、カナダの自然の美しさ・歴史や風 土について学び、多国籍の人々とのふれあいを通して、私たち日本人をやさしく受け入れてくれる温かみを感じることができたと思い ます。サマープログラムでは、英語を使った実践的なコミュニケーションはもちろん、海外という不慣れな環境でありながら、物おじせ ずにアクティビティに挑戦し克服する頼もしい姿を見ることができ、研修が3人の高校生にとってたいへん実りあるものだったと実感し



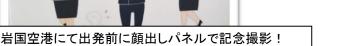
温かさにあふれたホストファミリーと一緒に有意義な日々を過ごし、多くのことを学ぶことができたようです。 美しいカナダの自然の中で過ごしたことで、カナダの広大さを肌で感じることができたのではないでしょうか。 彼らにとって、生涯忘れることのない貴重な体験であり、今後の生き方に大きな影響を与える研修旅行であ ったと感じています。

7月27日(土)

岩国空港を出発し、羽田空港か らバンクーバー空港へ。バンク ーバー空港からビクトリア空 港、カナダ・サーニッチへ



ドキドキ、ワクワク!いってらっしゃい!



7月28日(日)

10時間を超えるフライトを終 え、無事カナダに到着! さっそくサーニッチ・ビクトリア 周辺を視察しました

現地の人は親切で、楽しく働く姿が印象 的でした。伝統料理や美しい町並みに触 れ良い経験になりました。英語での交流 は大変でしたが、改めてコミュニケーショ ンの大切さと楽しさがわかりました。異文 化交流の素晴らしさを伝え、学んだことを 牛かしていきます。

伊達 朱音

いように感じました。

カナダの豊かな自然や文化に触 れながら、ほかの国の学生と積極 的に話すことができました。互いの 国のことを教え合うことができて、 とても面白かったです。自分の英 語力の不十分さも感じたので、こ れからもっと勉強して将来沢山の 国の文化について学びたいと思い ました。

米原 希

大塚くるみ

7月29日(月)~ 8月10日(土) キャンプビクトリアサマープログラム参加&カナダの家庭でホームステイ



クラスメイトとランチタイム



ビクトリア大学の留学生ルーム



今は使われていないダイナミックな鉄橋





8月12日(月)

岩国空港到着。 ただいま! 廿日市!





カナダの印象に残っていることは、日本との生活環 境の違いです。ブリティッシュ・コロンビア州ビクトリ アの緯度は北海道より北にあり、夜暗くなる時間帯 がやや遅くて21時過ぎまで明るく、まるで1日が長

ビクトリアの朝、夕方は少し肌寒かったです。寒い中 でブリティッシュ・コロンビア州のフェスティバルの花

火も見ることができました。ホストファミリーや学校で できた新しい友達や先生など、文化の異なる者同士 の珍しい体験もでき、充実した2週間になりました。

カナダ青少年派遣事業に参加した学生の生の声を聞きま す。より詳しいお話を聞きたい方、この事業に興味のある 方は、ぜひ参加してください。人数把握のため、事前に協 会まで申込みをお願い致します。

日時: 2019年10月18日(金) 19時~ 場 所: 廿日市市市民活動センター 第1研修室

参加費: 無料

申込・問合せ: 廿日市市国際交流協会事務局まで



広大な景色でカヌーを体験!





ビクトリア空港 ~ バンクーバー空港へ 名残惜しみながら羽田空港 へ出発しました

8月11日(日)

ブリティッシュ・コロンビア州議事営



日曜日はホストファミリーと郊外へ

有名なブッチャードガーデン

mer Prooffan Camp Victoria

Camp Victoria Fee Schedule

(Prices are subject to change.) =

2 weeks \$2,025 3 weeks \$2,895 4 weeks \$3,750

5 weeks \$4,41 6 weeks \$5,08

o weeks \$5,080
7 weeks \$5,795

Program Fees Include:

Victoria International Airport pick-up and drop-off, homestay fees (3 meats per day), school fee, medical insurance, activity & entrance fees, transportation to and from activity locations, participation certificate, VISP souvenir.

Program Office · Uplands Campus · 3461 Henderson Road Victoria, BC V8P 5A8 · Canada



availability and group size.

An activity may be substituted where that activity is no tonger available.

Camp Victoria Summer Program

Camp Victoria focuses on practical language learning experiences that allow students to further develop their English language proficiency. Through in-class learning, as well as local activities, students will have opportunities to practice their speaking, listening, reading and writing skills in real-world contexts.

- Six-days-a-week program
- English language learning (ELL) with a focus on real-world settings
- Live with a caring Canadian homestay family
- Explore a new culture and be immersed in Canadian life
- Participate in a variety of fun and engaging local activities, as well as opportunities to visit scenic Vancouver
- Program hours: 9:00am 3:30pm, Monday to Saturday



WEEK 7 Aug 19 - Aug 23

rientation / ELL & ool-Based Activitie

Half Day: ELL Half Day: Mini Golf

TUESDAY:

Half Day: ELL Half Day: Kayakin



THURSDAY:

Half Day: ELL Half Day: Ice Skat

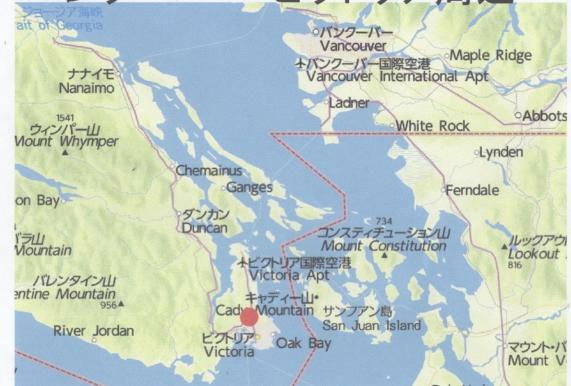
SPINAV

The Activity Schedule may be adjusted during a week to accommodate booking availability and group size. An activity may be substituted where that activity is no longer available.

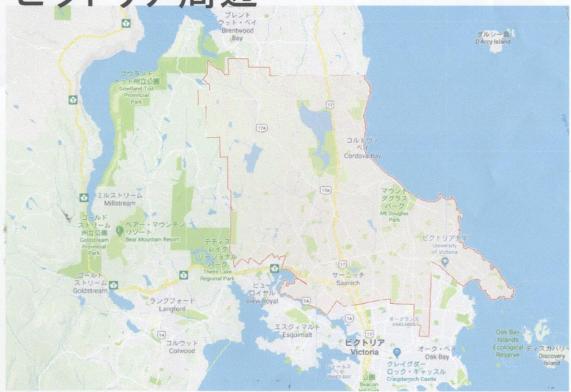


バンクーバーアイランド周辺 ポート・アリス Port Alice セイワード Sayward チャーチル山 Mount Churchill クック岬 Cape Cook ▲ガリバルディ山 バンクーバー島 ▲ゴールデン・ハインド山 Golden Hinde Vancouver Island エステバン・ポイント。 Estevan Point ○バンクーバー Vancouver シュクサン Mount Shuks エジンパラ山 Edinburgh Mountain サンフアン諸島 San Juan Islands Victoria

バンクーバー・ビクトリア周辺



ビクトリア周辺



令和元(2019)年度 北米都市(カナダ)青少年派遣事業報告書

編集発行:廿日市市自治振興部 国際交流•多文化共生室

廿日市市国際交流協会

〒738-0014 広島県廿日市市住吉二丁目2番16号 市民活動センター内

☎0829-30-0201